

高校進学で必要なお金とは・・・

2月17日（火）

先週末は春の陽気で暖かくなってきたと思っていたら今朝は寒い朝となりました。今日は、保護者の関心も高い高校の学費について触れてみたいと思います。高等学校等就学支援金制度により授業料は無償化されているとはいえ、実際には制度ではまかないきれない授業料以外の費用が多く、入学までにある程度の費用を準備しておくことが望ましいでしょう。高校に入学してからの費用はどれくらいかかるのでしょうか。文部科学省が公表している「子供の学習費調査（2018 年）」によると、公立高校3年間の学習費総額は約137万円です。次に学校教育費について学年別で確認してみると、入学時に必要な制服や通学用品などを揃えなければならない高校1年生が約51万円と、最も負担の大きな学年となっていました。一方、学校外活動費を見てみると、大学受験を控えた高校3年生が約23万円と、3学年の中で最も負担が大きな学年となっていました。この理由は、補助学習費の中で、とりわけ学習塾の費用の負担が大きいためです。



○入学前の費用はいくらかかるか？

高校の入学前に必要な費用の一つが受験料。公立高校の受験料は2,200円と、それほど負担は大きくありません。しかし私立高校の場合は、2～3万円ほどかかるのが一般的で、複数の高校を受験すれば、その分費用も増えることになります。また、公立高校の併願として私立高校を受験する場合は、私立高校に合格した時点で入学金などの納入金を払うケースも多くあります。公立高校の合格発表まで納入金の支払いを待ってくれる学校もあれば、待ってくれない学校もあります。後者の場合は、20万～30万円（学校によってはそれ以上）かかることもあるため、事前に調べておくとい良いでしょう。

